

Web サービスにおける 相互接続検証への取り組み ～DOPG リニューアル～

DOPG
幹事会 メンバ
石原 直樹

Agenda

- ◆ DOPG リニューアル概要
 - ☞ DOPG はどう変わったか?
- ◆ DOPG のこれまでの活動、今度のロードマップ
- ◆ DOPG の現在の活動紹介
 - ☞ セキュアな Web サービス 実証実験
- ◆ 今後のロードマップ詳細
- ◆ DOPG の体制と他団体との関係

DOPG リニューアルの概要

(新たな点)

- ◆ CORBA のプロモーションから活動内容をシフト
- ◆ 今後、Web サービスの相互接続実験を活動の中心とする
- ◆ 将来的にはネットワーク・アイデンティティ、グリッドコンピューティングを対象とする
- ◆ 他団体との連携を強化 (リエゾンオフィサー)
 - WS-I, XML コンソーシアム 等

(変更のない点)

- ◆ アプリケーション・サーバー等の分散オブジェクト製品の相互接続実験を行うという点では継続性を保つ
- ◆ メンバ外との実験もオープンハウス形式で積極的に行う

名称変更

◆ DOPG

- ☞ 従来の正式名称は、分散オブジェクト推進協議会
- ☞ 従来の略称を正式名称とする
- ☞ 日本語表記は、「ディー・オー・ピー・ジー」

DOPG のこれまでの活動

1999

IIOP
相互接続実証

9社間

10社間

2000

Interoperable
Naming
Service
(相互接続実証実験)

3社間

2001

COST
プロジェクト
テストキット
公開

2002

SOAP
データ網羅性
(相互接続実証実験)

11社間

14社間

Security Service
(相互接続実証実験)

4社間IIOP-SSL

トランザクション相互接続実証

4社間

(1フェーズ)

4社間

(2フェーズ)

5社間

(Java/2フェーズ)

SOAP
アプリケーション間
連携接続
(相互接続実証実験)

12社間

14社間

コンポーネント
(CORBA/EJB相互接続実証実験)

5社間

7社間

8社間

DOPG ロードマップ 概要

Web サービス関連の実証
SOAP 相互接続
SOAP + SSL 相互接続
WS-I サンプル AP 検証
SAML 相互接続
UDDI 相互接続検証

オープンハウス実験
SOAP 相互接続

イベントデモンストレーション
XML コンソーシアム Week
Web サービス カンファレンス
JavaOne APAC 2003

グリッド
コンピューティング

产学連携
プロジェクト

ネットワーク
アイデンティティ

ユビキタス

2003年

2004年

ロードマップ詳細： Web サービスに関する活動

◆ 2003年までの活動

- ☞ SOAP 接続実験 (2002年9月 JavaOne Japan にて)
 - 12社参加
- ☞ SOAP 接続実験 オープンハウス (2002年9月 JavaOne Japan にて)
 - 会員企業 + 3 団体参加

◆ 現在活動中

- ☞ SOAP + SSL 接続実験によるセキュアな Web サービス検証
 - Web サービスセキュリティ分科会にて活動中
- ☞ 第二回 SOAP 接続実験 オープンハウス (2003年6月23日～7月4日の間)

◆ 2003年後半以降

- ☞ WS-I サンプルアプリケーション検証
- ☞ WS-Security 検証
- ☞ SAML 実証実験

◆ 2004年以降

- ☞ ネットワークアイデンティティ実証実験
- ☞ WS-Security 標準化に対応した実験継続
- ☞ WS-Reliability 検証

ロードマップ詳細： ネットワーク アイデンティティ(NI)に関する活動

- ◆ Liberty Alliance をターゲットとする
- ◆ 2003年後半以降の活動予定
 - ☞ SAML 製品相互接続検証
- ◆ 2004年以降の活動予定
 - ☞ Federation Identity の実証実験

ロードマップ詳細： グリッド・コンピューティングに関する活動

◆ 当面の活動

- ☞ GGF (Global Grid Forum) の仕様成熟化を監視

◆ 2004/2005年以降

- ☞ 各社のグリッドエンジンの協調実験
- ☞ 本格的活動開始は2005年予定

ロードマップ詳細： ユビキタスコンピューティングに関する活動

- ◆ エンタープライズ・システムとの接続で、エンド・ツー・エンドのソリューションモデルを探索
- ◆ 2004年以降に活動本格化

幹事会 (Board)

技術部会 (Technical Committee)

分科会 (Working Group)

分科会、PJは
臨機応変に立
ち上げ、解散

分科会 (Working Group)

分科会 (Working Group)

プロジェクト

事務局

リエゾンオフィサー

OMG

XML コンソーシアム

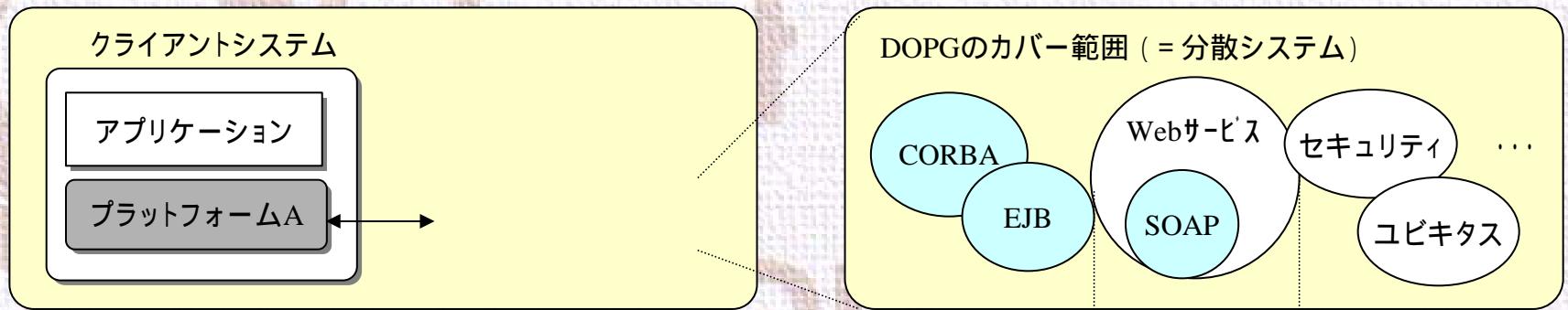
WS-I / J-SIG

DOPGとWS-Iの相違: カバー範囲

DOPG リニューアル

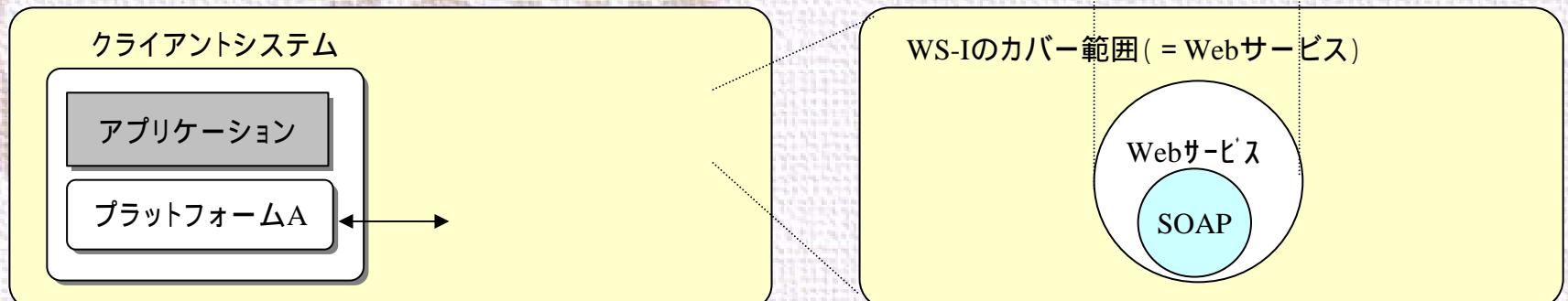
□ DOPG:

- 分散システムの「プラットフォーム」の相互運用性を実現する。
(将来的には、Webサービス、セキュリティ、ユビキタス等も含める)



□ WS-I:

- 「Webサービス」を提供するアプリケーションの相互運用性を実現する。

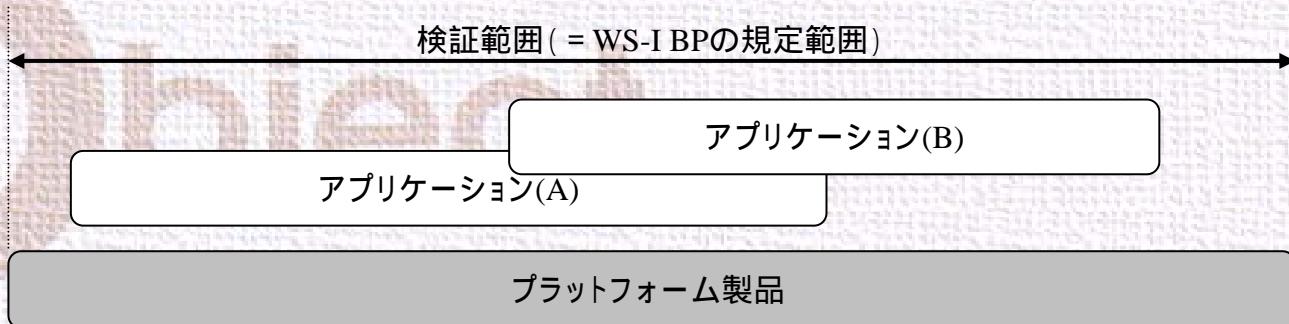


DOPGとWS-Iの相違: 検証範囲

DOPG リニューアル

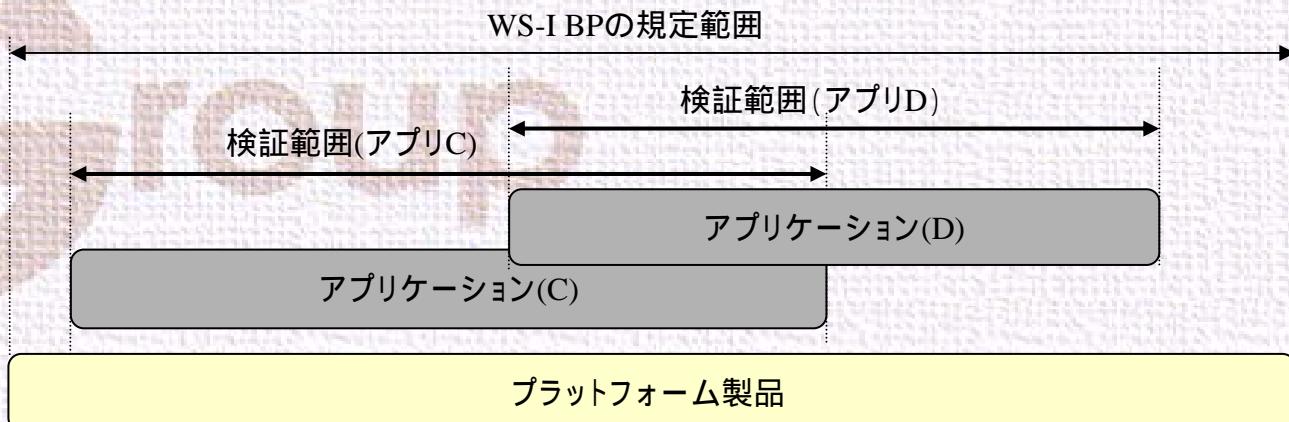
□ DOPG:

プラットフォーム製品の相互接続性を検証するので、その上の全てのアプリケーションの相互接続性が保証される。



□ WS-I:

アプリケーション毎に相互接続性を検証するので、各アプリケーションの機能範囲での相互運用性が保証される。



組織改正

◆ 従来の体制に代え、3つのグループを設置

☞ 技術部会

- 活動の中核的存在。
- 分科会の母体

☞ 事務局

- 全体の運営と PR 活動を担当

☞ リエゾンオフィサー

- 他の団体との連携を担当
- 各組織ごとに1ないし2名を割り当て

◆ 狙い

- ☞ 柔軟な組織による最新技術のキャッチアップ強化
- ☞ 他団体の活動とのシナジー効果

現在の幹事会メンバ

- ◆ 坪井 俊洋 (沖電気工業株式会社)
- ◆ 末延寿朗 (サイベース株式会社)
- ◆ 石原 直樹 (サン・マイクロシステムズ株式会社)
- ◆ 今 昭 (日本電気株式会社)
- ◆ 小野沢 博文 (日本アイオナ)
- ◆ 古沢 淳 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
- ◆ 鈴木 俊宏 (日本オラクル)
- ◆ 羅 鍾弼 (日本ティーマックスソフト)
- ◆ 伊藤 隆 (日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社)
- ◆ 宮崎 詔史 (日本ヒューレット・パッカード株式会社)
- ◆ 田中 幹朗 (日本ユニシス株式会社)
- ◆ 吉野 松樹 (株式会社日立製作所)
- ◆ 成田 博和 (富士通株式会社)
- ◆ 藤井 等 (ボーランド株式会社)
- ◆ 小川 義高 (三菱電機株式会社)

現在の分科会・プロジェクト

◆ Web サービス・セキュリティ分科会

- ☞ 主査：松永和男（日立）
- ☞ SOAP + SSL がターゲット
- ☞ 4月の ECOM の実証実験と連携？

◆ Web サービス・コアテクノロジー分科会

- ☞ 主査：佐治信之（NEC）、成田雅彦（富士通）
- ☞ 8月の Web サービス カンファレンスで発表
- ☞ WS-I や XML コンソーシアムと連携したセミナーも開催

◆ オープンハウス・プロジェクト

- ☞ 主査：鈴木俊宏（オラクル）
- ☞ 第二回を6月に計画中

◆ 产学連携プロジェクト

- ☞ 主査：吉野松樹（日立）、古沢淳（IBM）

事務局について

◆ 役割

- ☞ PR 活動とりまとめ
- ☞ セミナー講演依頼処理
- ☞ イベント協賛依頼処理

◆ 担当

- ☞ 担当会社を三社 (2003年は日立、富士通、NEC)
- ☞ 一年ごとに交代

DOPG について

- ◆ DOPG とは
 - ☞ 15 のコンピュータ / ソフトウェアベンダにて構成される非営利団体
- ◆ 設立 : 1997年 10月
- ◆ 目的 :
 - ☞ 分散オブジェクト関連製品の相互接続性の検討および実証実験
 - ☞ 技術検討の結果について標準化団体(OASIS, OMG, W3C, WS-I, etc)へのフィードバック
- ◆ 加入メンバー (50音順)
 - ☞ [沖電気工業株式会社](#) [サイベース株式会社](#) [サン・マイクロシステムズ株式会社](#) [日本電気株式会社](#) [日本アイオナテクノロジーズ株式会社](#) [日本アイ・ビ・・エム株式会社](#) [日本オラクル株式会社](#) [日本ティーマックスソフト株式会社](#) [日本ビ・・イ・・エ・・システムズ株式会社](#) [日本ヒューレット・パッカード株式会社](#) [日本ユニシス株式会社](#) [株式会社 日立製作所](#) [富士通株式会社](#) [ボーランド株式会社](#) [三菱電機株式会社](#)

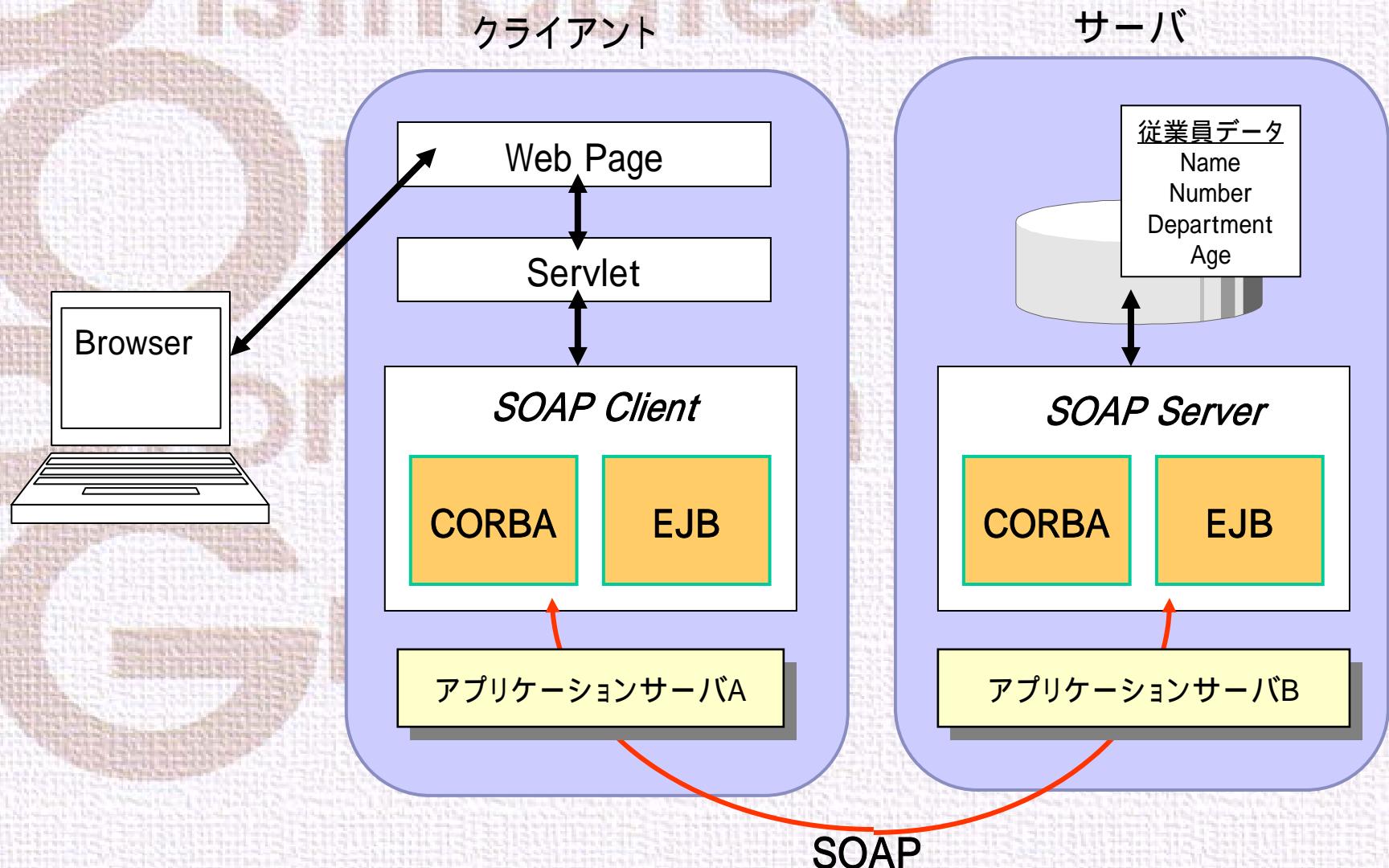
まとめ

- ◆ DOPG の活動は Web サービスを中心になる
- ◆ Web サービスのベンダ間接続実証実験に成功
- ◆ SOAP + SSL 実証実験に成功
- ◆ WS-I, XML コンソーシアムとの違い
 - ☞ プラットフォームの Web サービス相互接続性を重視

<http://www.dopg.gr.jp>

Appendix

実証実験のモデル



実証実験結果

: 接続成功 (2002年9月25日現在)

(2002年4月実験済)

2002年
8月 ~

2002年9月 ~

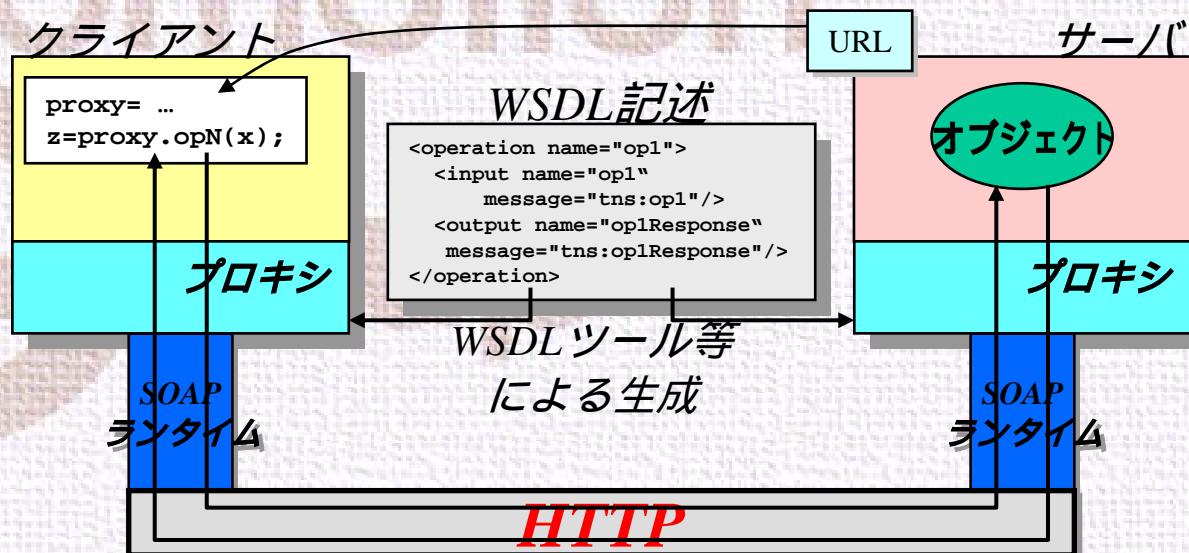
製品名	クライアント	WebLogic Server	J2EE SDK1.3 +WSDP	WebSphere	WebOTX	Orbix E2A XMLBus	Oracle9iAS Release2	JEUS	Cosminexus	Interstage	NonStop SOAP for Java	Sun ONE AS7	EAServer
サーバ	社名	沖・BEA・ユニシス	サン	東芝・IBM	NEC	アイオナ	オラクル	TmaxSoft	日立	富士通	コンパック	サン	サイベース
WebLogic Server	沖・BEA・ユニシス												
J2EE SDK 1.3 + WSDP	サン												
WebSphere	東芝・IBM												
WebOTX	NEC												
Orbix E2A XMLBus	アイオナ												
Oracle9iAS Release2	オラクル												
JEUS	TmaxSoft												
Cosminexus	日立												
Interstage	富士通												
NonStop SOAP for Java	コンパック												
Sun ONE AS7	サン												
EAServer	サイベース												

未実施(今後検証予定)

テスト項目と方法

テスト分類			項目数	記述言語
正常系	パラメータ 返却値	基本型 配列 構造型	38	WSDL Java
例外系	例外	基本型 配列 構造型	4	WSDL Java

(次ステップ
予定分
を追加)



実証実験結果

：接続成功（2002年9月25日現在）

(2002年4月実験済)

2002年8月～

2002年9月～

製品名	クライアント	WebLogic Server	WebSphere	WebOTX	Orbix E2A XMLBus	Oracle9iAS Release2	JEUS	Cosminexus	Interstage	NonStop SOAP for Java	J2EE SDK1.3 + WSDP	Sun ONE AS7	EAServer
サーバ	社名	沖・BEA・ユニシス	東芝・IBM	NEC	アイオナ	オラクル	TmaxSoft	日立	富士通	コンパック	サン	サン	サイベース
WebLogic Server	沖・BEA・ユニシス												
WebSphere	東芝・IBM												
WebOTX	NEC												
Orbix E2A XMLBus	アイオナ												
Oracle9iAS Release2	オラクル												
JEUS	TmaxSoft												
Cosminexus	日立												
Interstage	富士通												
NonStop SOAP for Java	コンパック												
J2EE SDK 1.3 + WSDP	サン												
Sun ONE AS7	サン												
EAServer	サイベース												